

小倉拘置所の現地建て替えに関する 被疑者・被告人 アンケート

【北九州矯正センター構想対策本部】

部会員 古野浩一郎 (61期)

部会員 岩岡 優子 (62期)

第1 はじめに

北九州矯正センター構想対策本部では、本年（平成22年）7月から9月にかけて、小倉拘置所弁護士面会控室にアンケート用紙及び回収箱を設置し、北九州部会員の協力の下、接見の際に弁護士が被収容者の意見を聴き取って用紙に書き込むという形でアンケートを実施した。

今回のアンケート結果は、築後50年近く経過して老朽化が著しい小倉拘置所内部の現状を知る上で、被収容者の生の声を集めた貴重な資料であり、あらためて同拘置所の早急な建て替えの必要性が浮き彫りとなった。

以下、今回のアンケート結果について報告する。

なお、今回は夏季におけるアンケートであるが、北九州矯正センター構想対策本部では、本年12月から来年2月の冬季においても、今回と同様のアンケートの実施を予定している。

第2 集計データ

1 アンケート期間 平成22年7月1日 ～ 同年9月30日

2 解答総数 30人

3 回答者の性別（回答数 29人）

・男性 24人（83%） ・女性 5人（17%）

4 回答者の年代（回答数 29人）

・20歳代 7人（24%）

・30歳代 8人（28%）

・40歳代 9人（31%）

・50歳代 3人（10%）

・60歳代 2人（7%）

5 回答時点での収容期間（回答数 29人）

・10日以内 4人（14%）

・11日以上～1月未満 11人（38%）

・1月以上～3月未満 6人（21%）

・3月以上～5月未満 2人（7%）

・5月以上～7月未満 2人（7%）

・7月以上～9月未満 3人（10%）

・9月以上 1人（3%）

6 部屋形態

・独居	18人 (62%)
・雑居 (3人)	3人 (10%)
(4人)	8人 (28%)

第3 アンケート結果

1 収容部屋について

① 収容部屋のうちの環境・構造について、不便さやストレスを感じたりした経験の有無
(回答数 30人)

・有	27人 (90%) (独居17人 雑居10人 不明1人)
・無	3人 (10%) (独居2人 雑居1人)

② ア ①の不便さやストレスの内容

・風通しが悪い	16人 (53%) (独居10人 雑居5人 不明1人)
・部屋の中が暑い (寒い)	24人 (80%) (独居15人 雑居8人 不明1人)
・部屋が狭い	12人 (40%) (独居8人 雑居4人)
・天井が低い	1人 (3%) (独居1人 雑居0人)
・部屋に自然光が入らない	7人 (23%) (独居2人 雑居5人)
・隣の部屋の音が聞こえる	12人 (40%) (独居8人 雑居4人)
・外を車が通ると建物が揺れる	1人 (3%) (独居1人 雑居0人)
・水道から赤水が出る	7人 (23%) (独居4人 雑居2人 不明1人)
・部屋のトイレの位置	15人 (50%) (独居13人 雑居2人)
・その他	9人 (30%)

イ ①の不便さやストレスの具体的内容

(衛生面に関するもの)

・皮膚がかゆい (女性 40歳代)	
・ダニが多い、ダニに全身刺される、至る所にダニがいる	(男性 30歳代 独居)
・ダニが出ているのか、来所初期は痛痒い日が続いた	(男性 20歳代 雑居)
・あせもが多く出来る	(男性 40歳代 独居)
・ゴキブリが出る	(女性 40歳代 独居)
・ゴキブリ、クモが出る	(男性 20歳代 独居)
・虫が入ってくる	(男性 40歳代 独居)
・壁に虫 (コバエ) がたくさん張り付き、それが体に付くこともあり気持ち悪い	(男性 20歳代 雑居)
・食事する台が腐っていて白い虫 (むかで?) が出てきた	(女性 40歳代 独居)
・トイレと食事の出入口が近い	(女性 40歳代 独居)
・トイレの横に食器庫があり不衛生	(女性 40歳代 独居)
・トイレが入口と枕元に近く、臭いがきつい	(男性 40歳代 独居)
・トイレと布団がひっついている	(女性 40歳代 独居)
・寝るとき、便器が頭の方にあり、臭いがする	(男性 20歳代 独居)

・部屋が汚い	(男性 20歳代 雑居)
・天井にカビ	(男性 20歳代 雑居)
・カビ臭い	(男性 40歳代 独居)
・生水は飲んではいけないと言われた	(男性 50歳代 雑居)
・水道から赤水が出たことがある	(男性 20歳代)
(プライバシーに関するもの)	
・トイレが見られる	(女性 40歳代 独居)
・トイレが丸見えなので精神的につらい	(男性 20歳代 独居)
・トイレが窓際にあるので人がいると排便しにくい	(男性 30歳代 独居)
・トイレが入口にあり通行人と目が合う	(女性 40歳代 独居)
・トイレが入口近くにあり外から丸見え	(男性 20歳代 独居)
・トイレが職員から丸見え	(男性 30歳代 独居)
・トイレが入口側にあり人から見られる	(男性 40歳代 独居)
・トイレと入口が近い、すりガラス	(男性 60歳代 雑居)
(施設・設備に関するもの)	
・トイレの水の勢いが弱い、汚物の流れが悪く何度も流す必要がある、自分が利用しようとすると前に使用していた人の汚物が残留していることがある	(男性 20歳代 雑居)
・トイレの水洗ボタンに力が要る、なかなか流れない	(男性 60歳代 雑居)
・排水が悪く洗面時間がかかる	(男性 30歳代 独居)
・畳がささくれておりすり傷になりやすい	(女性 40歳代 独居)
・畳が古い	(男性 40歳代 独居)
・朝一に赤水が出る	(男性 30歳代 独居)
・赤水が出るほどではないが、水道キャップが変色していた	(男性 30歳代 独居)
・水が合わない、カビもある	(男性 20歳代 雑居)
・古い	(男性 20歳代 独居) (男性 40歳代 雑居)
・風が抜けない、風通しが悪い、暑い	(男性 40歳代 雑居)
・手洗い場所(洗面台)が狭い	(男性 40歳代 雑居)
・外の通行人の音がうるさい	(女性 40歳代 独居)
・車の騒音、人の声	(男性 30歳代 独居)
・隣の部屋のトイレを流す音が聞こえる	(男性 40歳代 独居)
・壁紙がはがれかかっていた	(男性 50歳代 雑居)
・壁紙がない(コンクリートの壁)から圧迫される	(女性 30歳代 独居)
・トイレの位置が気をつけないと頭を打つ(前の壁との間隔が狭い)	(女性 30歳代 雑居)
・ドアが曲がって閉まらない	(男性 40歳代 独居)
・5、6畳に4人なので暑苦しい	(男性 50歳代 雑居)
・毛布が暑い、腹にかけている	(男性 50歳代 雑居)

④ 収容部屋の壁や柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところの有無(回答数 30人)

- ・有 18人 (60%) (独居11人 雑居6人 不明1人)
- ・無 9人 (30%) (独居6人 雑居3人)
- ・記憶なし 3人 (10%) (独居1人 雑居2人)

⑤ 収容部屋の雨漏り、上階からの漏水の有無

- ・有 1人 (3%) (独居1人 雑居0人)
- ・無 29人 (97%) (独居17人 雑居11人 不明1人)
- ・記憶なし 0人 (0%)

2 収容部屋以外の場所について

① 拘置所の廊下や壁、柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところの有無(回答数 29人)

- ・有 14人 (48%) (よそ見していないから分からないという1人を含む)
- ・無 3人 (10%)
- ・記憶なし 12人 (41%)

② 拘置所の廊下の天井の雨漏り、上階からの漏水の有無(回答数 30人)

- ・有 6人 (20%) (よそ見していないから分からないという1人を含む)
- ・無 11人 (37%)
- ・記憶なし 13人 (43%)

③ 拘置所のシャワー・入浴の回数(1週間)

夏… 3回 冬… 2回

30回答のうち、(2回)との回答が2つあったが、その他のほとんどが単に(3回)あるいは(夏3回、冬2回)との回答であった。

*その他の記載

- ・シャワーはなくお湯を汲んで体を洗う (女性 40歳代)
- ・入浴2回、シャワー(夏場だけ)1回 (男性 40歳代)
- ・シャワーなし (男性 20歳代)
- ・月、水、金
- ・15分、お湯14杯 (女性 40歳代)

④ ア 拘置所のシャワー室又は風呂場に関して、衛生面や清潔面で不安に思った経験の有無(回答数 30人)

- ・有 17人 (57%)
- ・無 13人 (43%) (ユニットバス→きれいになっている 男性 40歳代)

イ 具体的内容

(衛生面に関するもの)

- ・湯が汚い (女性 40歳代) (男性 30歳代)
- ・風呂が汚い (男性 30歳代)
- ・垢が汚い (男性 20歳代)

- ・順番があとになると風呂の湯にゴミが浮いている (男性 40歳代)
- ・順番が最後になると垢が浮いていて入る気にならない (男性 20歳代)
- ・みんなが体をつけた後の湯を使って洗わされるので汚い (女性 40歳代)
- ・50匹くらい虫がいてすさまじい、換気できればもっとよい (男性 40歳代)
- ・床が汚い、床マットが洗われておらずドス黒い (男性 40歳代)
- ・足拭きマットの交換をもっと数多くしてほしい (男性 20歳代)
- ・水虫をもらった、足拭きマットから感染したと思われる (男性 20歳代)
- ・マットが汚い、乾いていない (男性 20歳代)
- ・ぬるぬるしている (男性 30歳代)
- ・汚い、病気がうつる (女性 30歳代)
- ・水虫をもらった、足拭きマットから感染したと思われる (男性 20歳代)

(施設・設備に関するもの)

- ・タイルが剥がれそう (男性 40歳代)
- ・お湯に浸かる場所が小さすぎる (女性 40歳代)
- ・風呂場、足元に水が溜まる (女性 40歳代)
- ・コンクリートの石の風呂 (男性 30歳代)

(運用に関するもの)

- ・一人14杯までしか使えない (女性 40歳代)

3 面会室について

① 面会室の広さ (回答数 28人)

- ・広すぎる 1人 (4%)
- ・丁度良い 21人 (75%)
- ・狭すぎる 6人 (21%) (一般面会室に限定 1人)

(鳥小屋みたい、汚い 女性 40歳代)

② 接見(面会)に来た人との会話の際の相手の声の聞こえ具合 (回答数 c 0人)

- ・よく聞こえた 15人 (50%)
- ・普通 9人 (30%) (弁護士面会室に限定 1人)
- ・よく聞こえなかった 6人 (20%) (一般面会室に限定 3人)

③ 面会室にいる際に部屋の外(隣の部屋を含む)の音が聞こえて気になった経験の有無

(回答数 29人)

- ・有 11人 (38%)
- ・無 18人 (62%)

④ア 接見を待つ際の待機場所について気になった点の有無 (回答数 29人)

- ・有 8人 (28%)
- ・無 21人 (72%)

イ 具体的内容

(施設・設備に関するもの)

- ・狭い (男性 20歳代) (男性 40歳代) (男性 30歳代) ・狭くて入ると動悸がする (女性 40歳代) ・窮屈感 (男性 20歳代) ・鳥小屋みたい (女性 40歳代) ・暑い、寒い

(男性 20歳代)・木のイスのお尻が痛くなる(男性 40歳代)

(その他)

・落書きあり(男性 20歳代)・忘れられているときがある(女性 40歳代)

4 運動スペースについて

① 運動場利用の有無(回答数 30人)

・有 29人(97%) ・無 1人(3%)

② (利用経験が有る者)

ア 利用回数(1週間)(回答数 29人)

・1~2回くらい 2人(7%)
・2回くらい 9人(31%)
・2~3回くらい 8人(28%)
・3回くらい 10人(34%)

イ 運動場について気になった点

・屋根が無く、雨の日に運動できない 20人(69%)
・運動できる時間が短い 12人(41%)
・運動器具が少ない 9人(31%)
・運動器具が古い 8人(28%)
・運動場が狭い 13人(45%)
・その他 9人(31%)

ウ その他意見の具体的内容

(施設・設備に関するもの)

・壁が欠け、危ないと思った(女性 40歳代)・木陰がない(男性 30歳代)・風通しが悪い(男性 30歳代)・運動場の端に、汚れやクモの巣が多くて気になる(男性 30歳代)・バレーボールしにくい(女性 30歳代)

(器具に関するもの)

・ボールがもう少し欲しい(男性 40歳代)・ボールが2種類だけ(男性 40歳代)・運動器具が全くない(男性 20歳代)(男性 20歳代)・なわとびが2本しかない(女性 40歳代)・器具が汚い(男性 40歳代)

(運用に関するもの)

・運動後シャワーが使えない(男性 30歳代)・スリッパで運動しなければならないのが不便(男性 20歳代)・15~30分しか運動できない、短い(女性 40歳代)(女性 30歳代)・6人になると運動場が狭い(女性 40歳代)・運動時間が30分と短い、10人前後だと15分短縮(男性 20歳代)・集団の場合は時間が短い(男性 40歳代)

(その他)

・歩いている2、3人で会話するのみ(男性 60歳代)・ただたむろするだけ(女性 40歳代)

③ (利用経験が無い者)

ア 利用しない理由の有無(回答数 1人)

・特に無い 1人(100%)

イ 利用しない理由の具体的内容

5 その他、拘置所の老朽化・建替えについての自由意見

(建て替えに関するもの)

- ・ぜひ建て替えてほしい、ぜひ建て替えてください、建て替えすべき
(男性 20 歳代) (男性 40 歳代) (男性 20 歳代) (女性 30 歳代)
- ・早く建て替えた方がいい
(男性 30 歳代)

(老朽化に関するもの)

- ・大きい地震があったら壊れそう
(男性 20 歳代)
- ・建物がかなり古い
(男性 30 歳代) (男性 40 歳代)

(衛生面に関するもの)

- ・汚いので建て替えた方がよい。虫が出る、ダニがいる、水がつまる
(男性 20 歳代)
- ・あまりにも汚すぎる、建て替えに賛成
(女性 40 歳代)
- ・衛生面を良くしてほしい
(女性 30 歳代)
- ・衛生面 (汚い)、室温 (暑い) に大きな問題あり
(男性 20 歳代)
- ・ゴキブリが多く、衛生面に不安大きい
(女性 30 歳代)
- ・健康面での不安を感じる、体調が日々悪化している
(男性 20 歳代)

(施設・設備・環境に関するもの)

- ・風通しを考えてほしい、空気がこもる
(男性 40 歳代)
- ・風通しが悪い、空気が澱む
(男性 20 歳代)
- ・エアコン全くなし、暑くて眠れない、窓があっても高い位置にあり、立っていたら怒られるので座っていたら風が来ない
(男性 20 歳代)
- ・洗面台を改善してほしい
(男性 60 歳代)
- ・トイレがひどい、見られる。見回りが男性
(女性 40 歳代)
- ・京都の拘置所…トイレ環境がよかった、独居 4 畳くらいあった、洗面所に足マットがあった
(女性 40 歳代)
- ・雑居を増やした方がよい
(男性 40 歳代)

(運用に関するもの)

- ・歩行困難なのに無理矢理歩かされて非常に辛い
(女性 40 歳代)
- ・お茶の量が少ない、ポットにお茶が入っているが量が少ない
(男性 30 歳代)
- ・面会時間が 30 分から 15 分に変更、30 分はさせてほしい
(男性 40 歳代)
- ・ラジオで年寄り向けの番組を流してほしい
(男性 60 歳代)

第4 アンケートの結果を受けて

1 全体

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者数 30 人中 27 人 (90%) が、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じたりした経験があると回答した。

不便さやストレスを感じた点については、アンケート実施期間が 7 月から 9 月末ということもあり、「部屋の中が暑い (寒い)」という点を指摘するものが最も多かった。他方、「風通しが悪い」や「部

屋のトイレの位置]、「隣の部屋の音が聞こえる」、「水道から赤水が出る」といった点を指摘する意見も多数であり、収容部屋内のつくりやトイレの設置場所に問題があること、拘置所内の給水・排水設備の老朽化の可能性があることが明らかとなった。さらに、アンケート結果によると、回答者の半数以上の方が、収容部屋や収容部屋以外の廊下や壁、柱、天井のひびが「有った」と回答しており、拘置所の老朽化が相当程度進行している可能性が高いことが分かった。

面会室に関するアンケート結果では、回答者数 28 人中 6 人 (21%) の人が面会室の広さについて「狭すぎる」と回答しており、接見を待つ際の待機場所について気になった点についても、部屋の狭さを気にする意見が多くみられた。また、面会 (接見) 時の相手の声の聞こえ具合について、「よく聞こえなかった」という回答があり、未決囚の防御権行使にとって重要な場所である面会 (接見) 室の環境・つくりが、十分とは言えない状況であることが明らかとなった。

さらに、今回のアンケート結果から、ダニや虫の問題や風呂場等衛生面に関して、多数の収容者が、不安感・ストレスを感じていることが明らかとなった。

2 それぞれの項目について

(1) 収容部屋の問題

ア 収容部屋の暑さ (寒さ) の問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者数 30 人中 24 人 (80%) の人が、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じる点として「部屋の中が暑い (寒い)」という点を挙げ、回答者数 30 人中 16 人 (53%) の人が「風通しが悪い」という点を挙げた。

上記アンケート結果から、現在の小倉拘置所内の収容部屋においては、暑さ (寒さ) 対策のための十分な構造・設備がなく、暑さ (寒さ) が多くの収容者にとって大きなストレスとなっていることが分かった。また、現在の収容部屋内が、多くの収容者にとって風通しに配慮された構造になっていないことも明らかとなった。

⇒ 冷暖房設備については、平成 18 年 10 月に建て替えの終わった福岡刑務所久留米拘置支所においても導入されておらず、全国的にも冷暖房設備を備えた拘置所はないのではないかとのことであった。

しかし、近年の熱中症の問題もあり、収容者の健康面及び精神的ストレスに鑑みても、冷暖房設備のついた施設に建替えることが好ましいというべきである。

また、部屋の風通しに関しても、部屋内の窓の数を増やす等、収容者のストレスを緩和するために対策を講じることが急務といえる。勿論、その場合には、収容部屋の窓を二重にして窓と窓の間に廊下を通す等、収容者のプライバシー及び近隣住民の住環境に配慮すべきである。

イ 騒音の問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じる点として、回答者数 30 人中 12 人 (40%) の人が、隣の部屋の音が聞こえる点を挙げた。具体的には、「外の通行人の音がうるさい (女性 40 歳代 独居)」や「車の騒音、人の声 (男性 30 歳代 独居)」、「隣の部屋のトイレを流す音が聞こえる (男性 40 歳代 独居)」との意見が出された。

このようなアンケート結果からすると、小倉拘置所における収容部屋は、構造上遮音性に配慮したものとなっておらず、収容者のプライバシー・精神的ストレスの面で問題が生じていることが分かった。

⇒ 収容者のプライバシー及び精神的ストレス緩和のために、拘置所建物全体の遮音性を高めた構造に建て替える必要がある（修繕では困難）。

ウ トイレの位置・つくりの問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じる点として、回答者数30人中15人（50%）（独居13人雑居2人）の人が、部屋のトイレの位置を挙げた。具体的には、「トイレと食事の出入口が近い（女性 40歳代 独居）」、「トイレの横に食器庫があり不衛生（女性 40歳代 独居）」、「トイレが入口と枕元に近く、臭いがきつい（男性 40歳代 独居）」等の意見があった。さらに、収容部屋のトイレに関しては、「トイレが見られる（女性 40歳代 独居）」、「トイレが丸見えなので精神的につらい（男性 20歳代 独居）」、「トイレが入口近くにあり外から丸見え（男性 20歳代 独居）」等の意見が出されていた。

このようなアンケート結果から、収容部屋内のトイレの位置が、収容者の衛生面・プライバシー面に配慮されたものとなっておらず、多くの収容者に不安感・ストレスを与えていることが明らかとなった。

⇒ 衛生面・精神的ストレス・プライバシーの点からも、建て替えによって、収容室内のトイレの位置・つくりを変更する必要がある。

エ 給水設備・排水設備の問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じる点として、回答者数30人中7人（23%）の人が、水道から赤水が出る点を挙げ、具体的内容においても、「水道から赤水が出たことがある（男性 20歳代）」、「朝一に赤水が出る（男性 30歳代 独居）」という意見が出ている。

このようなアンケート結果からすると、小倉拘置所の給水設備の老朽化が相当程度進行している可能性が高いことが分かる。

また、収容部屋に関するアンケート結果によると、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じる点の具体的内容において、「トイレの水の勢いが弱い、汚物の流れが悪く何度も流す必要がある、自分が利用しようとする前に使用していた人の汚物が残留していることがある（男性 20歳代 雑居）」、「トイレの水洗ボタンに力が要る、なかなか流れない（男性 60歳代 雑居）」、「排水が悪く洗面時間がかかる（男性 30歳代 独居）」という意見が出ており、拘置所の風呂場に関しても、衛生面や清潔面で不安に思った経験の具体的内容として、「風呂場、足元に水が溜まる（女性 40歳代）」という意見があった。

このようなアンケート結果からすると、小倉拘置所全体の排水設備も老朽化が相当程度進行している可能性が高い。

⇒ 以上のアンケート結果からすると、給水設備・排水設備を更新する必要性から全面的に右

設備の更新ということになると、修繕ではなく、むしろ建て替えをすべきである。

(2) 収容部屋や収容部屋以外の廊下や壁、柱、天井のひび

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者数30人中18人(60%)の人が、収容部屋の壁や柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところがあると回答しており、収容部屋以外に関しても、回答者数29人中14人(48%)の人が、廊下や壁、柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところがあると回答している。

このようなアンケート結果からすると、収容部屋や廊下等に使用されているコンクリート等建築材料について、経年による劣化が進行している可能性が高いことが分かった。

⇒ 上記アンケート結果からすると、建物の耐久性に支障のある可能性が高く、建て替えの必要性・緊急性が認められる。

(3) 面会室の問題

面会室に関するアンケート結果によると、回答者数28人中6人(21%)の人が面会室の広さについて「狭すぎる」と回答しており、接見を待つ際の待機場所についても、「狭い(男性 20歳代)(男性 40歳代)(男性 30歳代)」、「窮屈感(男性 20歳代)」といった意見が出されていた。また、面会(接見)時の相手の声の聞こえ具合について、回答者数30人中6人(20%)が「よく聞こえなかった」と答えていた。

このようなアンケート結果から、小倉拘置所における面会(接見)室が、未決囚の防御権行使にとって重要であるべき場所として、十分機能するものとは言えないことが分かった。

⇒ より未決囚の防御権行使に配慮された広さ・設備のある面会(接見)室へ立て替える必要がある。

(4) 運動場の設備

運動場に関するアンケートによると、回答者数30人中29人が運動場を利用したことが有ると回答し、1週間の利用回数も3回くらいと回答した者が10人と最も多く、収容者の多くにとって、拘置所生活の中で運動の重要性が高いことが明らかとなった。

そのような中で、アンケート結果によると、運動場について気になった点として「屋根が無く、雨の日に運動できない」を選んだ者が20人(69%)で最も多く、次いで「運動場が狭い」を選んだ者が13人(45%)と多かった。

⇒ 収容者の運動の機会をより確保するために、屋根付きの運動場の設置、運動場をより広くとる施設へ建て替える必要がある。

3 その他の問題

また、今回のアンケートの中で、収容部屋に関して不便さやストレスを感じた内容として、「ダニが多い、ダニに全身刺される、至る所にダニがいる(男性 30歳代 独居)」、「壁に虫(コバエ)がたくさん張り付き、それが体に付くこともあり気持ち悪い(男性 20歳代 雑居)」、「食事すると台が腐っていて白い虫(むかで?)が出てきた(女性 40歳代 独居)」という意見があった。

このアンケート結果から、現在、小倉拘置所において、多くの収容者が収容部屋のダニや虫の問題に悩まされ、健康面、衛生面への影響に不安を感じていることが分かった。

⇒ 早急に虫の駆除のために何らかの応急処置的な対策をとるべきであるし、建物の老朽化が虫の発生に影響を与えている可能性が高く、建て替えを実施して根本的な解決を図るべきである。

4 最後に ～収容者の拘置所の老朽化・建て替えについての意見～

今回のアンケートの終わりに拘置所の老朽化・建て替えについての自由意見欄を設けていたところ、アンケートに回答した収容者から、「汚いので建て替えた方がよい。虫が出る、ダニがいる、水がつまる（男性 20歳代）」、「あまりにも汚すぎる、建て替えに賛成（女性 40歳代）」等建て替えに賛同する意見が多く書かれていた。中には、「健康面での不安を感じる、体調が日々悪化している（男性 20歳代）」という意見まであった。

以上のようなアンケート結果からも、早急に小倉拘置所の建て替えを進める必要性があることは間違いない。



福岡拘置所小倉拘置支所

小倉拘置支所の現地建て替えに関する 被疑者・被告人 アンケート

【北九州矯正センター構想対策本部】

部会員 古野浩一郎 (61期)

部会員 岩岡 優子 (62期)

第1 はじめに

北九州矯正センター構想対策本部では、平成22年夏季に引き続き、平成22年12月から平成23年2月(冬季)にかけて再度、小倉拘置支所の収容者に対して同拘置支所内部状況についてのアンケートを実施した。今回のアンケート結果は、築後50年近く経過して老朽化が著しい小倉拘置支所内部の現状を知る上で、収容者の生の声を集めた貴重な資料であり、あらためて同拘置支所の早急な建て替えの必要性が浮き彫りとなった。以下、今回のアンケート結果について報告する。

第2 集計データ

- 1 アンケート期間 平成22年12月1日 ~ 平成23年2月27日
- 2 解答総数 31人
- 3 回答者の性別(回答数 30人)
 - ・男性 26人(77%)・女性 4人(13%)
- 4 回答者の年代(回答数 31人)
 - ・20歳代 7人(23%)・30歳代 11人(35%)・40歳代 7人(23%)・50歳代 4人(13%)
 - ・60歳代 2人(6%)
- 5 回答時点での収容期間(回答数 31人)
 - ・10日以内 9人(29%)
 - ・11日以上~1月未満 10人(32%)
 - ・1月以上~3月未満 6人(19%)
 - ・3月以上~5月未満 3人(10%)
 - ・5月以上~7月未満 0人(0%)
 - ・7月以上~9月未満 1人(3%)
 - ・9月以上 2人(6%)
- 6 部屋形態(回答数 31人)
 - ・独居 19人(61%)
 - ・雑居(2人) 2人(6%)
 - (3人) 4人(13%)
 - (4人) 4人(13%)
 - (3~4人) 2人(6%)

第3 アンケート結果

1 収容部屋について

① 収容部屋のうちの環境・構造について、不便さやストレスを感じたりした経験の有無

(回答数 31人)

・有 25人(70%)(独居16人 雑居9人) ・無 6人(19%)(独居3人 雑居3人)

②ア ①の不便さやストレスの内容

・風通しが悪い	4人(13%)	(独居 4人 雑居 0人)
・部屋の中が寒い	22人(71%)	(独居 15人 雑居 7人)
・部屋が狭い	10人(32%)	(独居 7人 雑居 3人)
・天井が低い	0人(0%)	(独居 0人 雑居 0人)
・部屋に自然光が入らない	6人(19%)	(独居 5人 雑居 1人)
・隣の部屋の音が聞こえる	4人(13%)	(独居 4人 雑居 0人)
・外を車が通ると建物が揺れる	1人(3%)	(独居 1人 雑居 0人)
・水道から赤水が出る	7人(23%)	(独居 7人 雑居 0人)
・部屋のトイレの位置	11人(35%)	(独居 9人 雑居 2人)
・その他	7人(23%)	(独居 4人 雑居 3人)

イ ①の不便さやストレスの具体的内容

(衛生面に関するもの)

・トイレが食事搬入口の真下にある	(男性 40歳代 独居)
・寝るとトイレが頭の上であり嫌な感じがする	(男性 20歳代 独居)
・トイレが寝るところに近いので気になる	(男性 30歳代 雑居)
・部屋が臭い、トイレ臭い	(女性 30歳代 雑居)(男性 50歳代 独居)
・壁の四隅がカビだらけ	(女性 30歳代 雑居)
・部屋にカビが生えているのが気になる	(女性 30歳代 雑居)
・布団が匂う	(男性 40歳代 雑居)
・布団から虫が出てきた	(男性 40歳代 雑居)
・夏は小さいゴキブリがうじょうじょしている	(女性 30歳代 独居)
・夏に御菓子があると必ずゴキブリが出る	(男性 40歳代 独居)
・便器が小さく汚い	(男性 50歳代 雑居)

(プライバシーに関するもの)

・トイレは奥にあったほうがいい	(男性 50歳代 独居)
・トイレが廊下側にあり見られる	(男性 20歳代 独居)

(施設・設備・備品に関するもの)

・毛布だけではとても寒さをしのげなかった	(男性 20歳代 独居)
・しもやけができた。とにかく寒い	(女性 30歳代 独居)
・昼間毛布のみで寒い	(男性 20歳代 独居)
・布団が少なく寒い	(男性 50歳代 独居)
・布団がうすい	(男性 40歳代 雑居)

・窓が開かない	(女性 30歳代 雑居)
・すきま風が寒い	(女性 30歳代 雑居)(男性 40歳代 雑居) (男性 30歳代 独居)(女性 30歳代 独居)
・廊下からの風が寒い	(男性 60歳代 雑居)
・窓の建てつけが悪くスムーズに閉まらない	(男性 50歳代 雑居)
・窓枠が錆びて汚く開きにくい	(女性 30歳代 独居)
・窓が風で勝手に開く	(男性 30歳代 独居)
・電気が暗い	(女性 30歳代 雑居)
・天井が高くて夜は暗い	(男性 60歳代 雑居)
・トイレの水の流れが悪い	(女性 30歳代 雑居)
・和式トイレが使いにくい	(男性 20歳代 独居)
・水道の蛇口がきちんと閉まらない	(男性 40歳代 雑居)
・水道管が古い	(男性 60歳代 雑居)
・天井から水滴が落ちてくる	(男性 20歳代 雑居)
・部屋が狭いため、就寝時、布団が畳の上に納まりきらず、一部が出入り口の靴置場にはみ出る	(男性 50歳代 雑居)
・スリガラスで自然光が入らない	(男性 30歳代 独居)(男性 40歳代 独居)
・空が全く見えない	(男性 30歳代 独居)
・水道から赤水や鉄の錆びが出る	(男性 40歳代 独居)
・雨漏りしている部屋があると聞いた	(男性 40歳代 独居)
・備品が古い(洗面台、壁、ドア、トイレ、蛇口が壊れた)	(男性 30歳代 雑居)
・食器台が狭すぎる	(男性 30歳代 独居)

③ 収容部屋の壁や柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところの有無(回答数 31人)

・有	20人(65%)(独居14人 雑居6人)
・無	8人(26%)(独居4人 雑居4人)
・記憶なし	3人(10%)(独居1人 雑居2人)

④ 収容部屋の雨漏り、上階からの漏水の有無(回答数 31人)

・有	1人(3%)(独居0人 雑居1人)
・無	27人(77%)(独居16人 雑居11人)
・記憶なし	3人(10%)(独居3人 雑居0人)

2 収容部屋以外の場所について

① 拘置所の廊下や壁、柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところの有無(回答数 31人)

・有 15人(47%) ・無 3人(10%) ・記憶なし 13人(42%)

② 拘置所の廊下の天井の雨漏り、上階からの漏水の有無(回答数 31人)

・有 11人(35%) ・無 9人(29%) ・記憶なし 11人(35%)

③ 拘置所のシャワー・入浴の回数(1週間)(回答数31人)

・1回 2人(6%)・2回 29人(94%)(内、夏は3回との回答が3人)

* 夏季の調査結果と総合すると、入浴は週に夏3回、冬2回の運用のようである。

④ア 拘置所のシャワー室又は風呂場に関して、衛生面や清潔面で不安に思った経験の有無(回答数 31人)

・有 16人(52%)・無 15人(47%)

イ 具体的内容

(衛生面に関するもの)

・浴槽が汚い(男性 20歳代)
・多人数が入った後は浴槽がぬるぬるする (男性 40歳代)
・順番が後になると汚れている (男性 20歳代)
・一番風呂以外は汚い (男性 40歳代)
・お湯がすぐ汚くなる (男性 30歳代)
・湯の中が汚い。垢が浮いている (女性 30歳代)
・浴槽にゴミがいっぱい浮いている (男性 20歳代)
・いろいろな人の髪の毛が落ちている (男性 40歳代)
・全体的に汚い (男性 50歳代)
・バイ菌が傷口から入って熱が出た (男性 40歳代)
・ひげそりで出血した血を流したままにしている (男性 30歳代)
・風呂場のイス、洗面桶が汚い (男性 30歳代)
・体を洗うときに使うイスは、何人もの人が使っているのに、自分が使う際にお湯を掛ける等して洗うことも許されない (男性 50歳代)
・床マットが汚い (男性 30歳代)

(施設・設備に関するもの)

・浴室も寒い (女性 30歳代)
・石の浴槽の角が危ない (男性 40歳代)
・5階のシャワー室が狭い (男性 40歳代)
・シャワーがないので不便 (女性 30歳代)

(運用に関するもの)

・洗面器14杯では洗うのは無理 (女性 30歳代)
・あと5分時間を長くしてほしい (女性 30歳代)

3 面会室について

① 面会室の広さ(回答数 31人)

・広すぎる 1人(3%)(弁護士面会室に限定 1人)
・丁度良い 26人(74%)
・狭すぎる 4人(13%)(一般面会室に限定 1人)

② 接見(面会)に来た人との会話の際の相手の声の聞こえ具合(回答数 31人)

・よく聞こえた 19人(61%)(一般面会室に限定 1人)
・普通 7人(23%)

・よく聞こえなかった 5人(16%)

③ 面会室にいる際に部屋の外(隣の部屋を含む)の音が聞こえて気になった経験の有無
(回答数 31人)

・有 9人(29%) (一般面会室に限定1人) ・無 22人(71%)

④ア 接見を待つ際の待機場所について気になった点の有無(回答数 30人)

・有 7人(26%) ・無 23人(74%)

イ 具体的内容

(施設・設備に関するもの)

・狭い (男性 50歳代)(男性 50歳代)(男性 30歳代)

・寒い (男性 60歳代)

・箱の中なので長くいるとストレス (男性 30歳代)

・木のイスなのでお尻が痛い (男性 40歳代)

(その他)

・落書きがある(女性 30歳代) ・長時間待たされる(男性 50歳代)

4 運動スペースについて

① 運動場利用の有無(回答数 30人)

・有 27人(90%) ・無 3人(10%)

②(利用経験が有る者)

ア 利用回数(1週間)(回答数 28人)

・1回 5人(17%) ・2回 3人(11%) ・3回 13人(45%)

・4回 3人(11%) ・5回 3人(11%) ・不明 1人(4%)

イ 運動場について気になった点

・屋根が無く、雨の日に運動できない 19人(67%)

・運動できる時間が短い 6人(21%)

・運動器具が少ない 12人(43%)

・運動器具が古い 7人(25%)

・運動場が狭い 13人(46%)

・その他 3人(11%)

ウ その他意見の具体的内容

(施設・設備に関するもの)

・壁のひび割れからカビが生えている (女性 30歳代)

・寒い (男性 40歳代)

・10数人出たときは狭い (男性 60歳代)

(器具に関するもの)

・運動器具が無い (男性 30歳代)(男性 40歳代)

(運用に関するもの)

・区切りが少人数すぎる、もっと大人数で話などができるとよい (女性 30歳代)

③(利用経験が無い者)

ア 利用しない理由の有無(回答数 3人)

・特に無い 0人(0%) ・ある 3人(100%)

イ 利用しない理由の具体的内容

・体調不良 (男性 20歳代)
・寒い (男性 40歳代)
・入ってまだ3日目 (男性 40歳代)

5 その他、拘置所の老朽化・建て替えについての自由意見

(老朽化、建て替えに関するもの)

・建て替えてほしい、もう少し住み心地良くしてほしい (女性 30歳代)
・早く建て替えた方がよい (男性 40歳代)
・古すぎる (男性 30歳代)
・古すぎる、早く新しくしてほしい (男性 40歳代)

(衛生面に関するもの)

・清潔さに気をつけてほしい (男性 20歳代)

(施設・設備・環境に関するもの)

・すきま風が体にしみて寒さがつらい、短時間でも暖房をつけてほしい、部屋のほとんどの人が風邪気味になっている (男性 60歳代)
・寒さは罰だと思って耐えている (男性 40歳代)
・冬寒すぎる、夏暑すぎる (男性 30歳代)
・悪いことしたからだけど、冷暖房をつけてほしい (男性 40歳代)
・暖房をつけてほしい (男性 20歳代)
・冷暖房設備を拡充してほしい (男性 20歳代)
・窓をサッシにするなどの改善をすべき (男性 30歳代)
・独居室でも四畳半くらいの広さにしてほしい(現状は三畳くらい)、圧迫感がある (男性 50歳代)

(運用に関するもの)

・差し入れの品については、検査を早く進め、早く手元に入れてほしい (男性 20歳代)

(その他)

・食事は昔よりは良くなっている、量もある (男性 40歳代)
・収容されて3日目で今の時点では特に気になる点は見当たらない (男性 40歳代)

第4 アンケート結果を受けて

1 全体

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者数 31 人中 25 人 (70%) が、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じたりした経験が有ると回答した。

不便さやストレスを感じた点については、「部屋の中が寒い」という意見が圧倒的に多数で、次いで「部屋のトイレの位置」を気にする意見も多く、さらに「部屋が狭い」、「水道から赤水が出る」という意見も多かった。収容部屋については、構造上の問題に加え、トイレの設置場所や給水・排水設備にも問題があることが判明し、収容者の生活のベースとなり健康にも直結する収容部屋に 70% もの人が不便さやストレスを感じているという事実は非常に問題であると言えよう。

さらに、アンケート結果によると、収容部屋の壁、柱、天井については回答者数 31 人中 20 人 (65%) の人が、収容部屋以外の廊下や壁、柱、天井については 15 人 (47%) の人が、ひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところが「有った」と回答しており、さらに拘置所の廊下の天井の雨漏り、漏水が「有った」と回答した人も 11 人 (35%) おり、拘置所自体の老朽化が相当程度進行していることが分かった。

面会室に関するアンケート結果では、回答者数 31 人中 26 人 (74%) の人が面会室の広さについて「丁度よい」と回答し、相手の声の聞こえ具合についても 25 人 (74%) の人が「よく聞こえた」ないし「普通」と回答しているものの、9 人 (29%) の人が隣の部屋を含む外の音が聞こえて気になった経験が「有った」と回答しており、さらに接見を待つ際の待機場所についても 7 人 (26%) の人が部屋の狭さや寒さ等について気になった経験が「有った」と回答している。未決囚の防御権行使にとって重要な場所である面会（接見）室の遮音性等について改善の余地があるといえる。

さらに、風呂場、シャワー室についても、回答者数 31 人中 16 人 (52%) と半数以上の方が衛生面について不安に感じていることが明らかとなった。

2 それぞれの項目について

(1) 収容部屋の問題

ア 収容部屋の寒さの問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者数全体の 71%、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じると答えた人の 77% の人が「部屋の中が寒い」と回答している。

具体的な意見としては、「すきま風」や「廊下からの風」が寒いという意見が圧倒的に多く、さらに「毛布だけでは寒い」「布団がうすい」、「布団が少なく寒い」という備品、運用に関する意見も見られた。中には、「しもやけができた」、「部屋のほとんどの人が風邪気味になっている」といった意見も見られ、寒さの問題が深刻であり実際に収容者の健康に悪影響を及ぼしていることがうかがわれる。

これらから、現在の小倉拘置支所内の収容部屋においては、老朽化等の影響により保温性、密閉性が十分に確保できていない構造、建て付け、設備となっており、寒さが多くの収容者にとって大きなストレス、悪影響となっていることが分かった。

⇒ 収容者において冷暖房設備の設置を望む意見が多い。

冷暖房設備については、全国的にもこれを備えた拘置所は極めて少数ないし皆無なのではないかとのことであるが、上記のとおり小倉拘置支所においては保温性、密閉性が十分に確保できていない状況である以上、収容者の健康面及び精神的ストレスに鑑み、冷暖房設備のついた施設に建て替えることが好ましいというべきである。

また、冷暖房設備設置の問題を脇に置くとしても、寒さ対策という観点から言えば、少なくとも保温性、密閉性が十分に確保された建物に建て替えることが急務といえる。しかしこの場合には、夏季の暑さ対策とのバランスにも配慮する必要がある。

イ 狭さ、暗さの問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者全体の32%、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じると答えた人の40%の人が「部屋が狭い」と回答している。具体的には、「部屋が狭いため、就寝時、布団が畳の上に納まりきらず、一部が出入り口の靴置場にはみ出る」という意見が出された。

また「電気が暗い」、「天井が高くて夜は暗い」との意見もあった。

このようなアンケート結果からすると、小倉拘置支所における収容部屋は、収容人数が十分に生活できる広さや明るさが確保されておらず、収容者の精神的ストレスの原因となっている面があることが分かった。

⇒ 収容者の精神的ストレス緩和のために、最低限、すべての収容者が十分に起臥寝食できるだけの収容人数に応じた部屋の広さを確保するとともに、照明設備についても一般に暗さを感じない程度の明るさを確保する必要がある。これらは、場当たりのな運用や設備の改善だけでは根本的な解決は困難であり、具体的な収容人数予想、収容計画に応じた拘置所建物全体の建て替えが最も有効的であると考えられる。

ウ トイレの位置・つくりの問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者全体の35%、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じると答えた人の44%の人が「部屋のトイレの位置」に問題があると回答している。具体的には、「トイレが食事搬入口の真下にある」、「寝るとトイレが頭の上であり嫌な感じがする」、「トイレが寝るところに近いので気になる」、「部屋がトイレ臭い」等の衛生面に関する意見のほかに、「トイレは奥にあったほうがいい」、「トイレが廊下側にあり見られる」といったプライバシーや羞恥心に関する意見も出されていた。

さらに、「和式トイレが使いにくい」、「便器が小さく汚い」という意見もあり、日本の現代社会で広く一般的に使用されている洋式トイレが導入されておらず、使用上の不便さも生じているようである。

このようなアンケート結果から、収容部屋内のトイレの位置が、収容者の衛生面・プライバシー面に配慮されたものとなっておらず、トイレ自体も古い型のものであり、多くの収容者にトイレの問題が不安感・ストレスを与えていることが明らかとなった。

⇒ 衛生面の改善・精神的ストレスの緩和・プライバシー保護・使用上の便益といった観点から、収容室内のトイレの位置や向き、あるいはトイレそのものを変更する必要がある。小倉拘置支所の老朽化に伴う他の様々な問題をも併せ考慮すれば、建物自体の建て替えによりトイレに関する諸問題にも対処することが最も有効であり現実的であるといえる。

エ 給水設備・排水設備の問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者全体の23%、収容部屋の環境・構造について不便さやストレスを感じると答えた人の27%の人が「水道から赤水が出る」と回答している。具体的内容においても、赤水のほかに「鉄の錆びが出る」という意見が出ている。

また、水道についても、「水道の蛇口がきちんと閉まらない」、「水道管が古い」との意見があり、さらには、「トイレの水の流れが悪い」といった意見もあった。

このようなアンケート結果からすると、小倉拘置支所の給水設備の老朽化が相当程度進行している可能性が高いことが分かる。

⇒ 給水設備・排水設備は収容者の健康や生活に直結するものであり、これら設備を全面的に更新する必要があると、そうなる、個別的な修繕では対処しきれないと思われ、むしろ建て替えにより根本的な改善を図るべきである。

(2) 収容部屋や収容部屋以外の廊下や壁、柱、天井のひびの問題

収容部屋に関するアンケート結果によると、回答者数31人中20人(65%)の人が、収容部屋の壁や柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところがあると回答している。

また、収容部屋以外に関しても、回答者数31人中15人(47%)の人が、廊下や壁、柱、天井にひびが入っていたりコンクリートが欠けたり剥がれたりしているところがあると回答し、拘置所の廊下の天井の雨漏り、漏水についても回答者数31人中11人(35%)の人が「有った」と回答している。収容者の話では小倉拘置支所では、収容部屋以外の廊下では回りを見回すことや脇見が禁止されているとのことであり、実際は廊下や壁、柱、天井のひび割れや雨漏りはもっと多いと思われる。

このようなアンケート結果からすると、収容部屋や廊下等に使用されているコンクリート等建築材料について、経年劣化が相当程度進行していることが分かった。

⇒ 上記アンケート結果からすると、建物の耐久性、安全性は非常に低下しているものと考えられ、緊急に建て替えの必要性・緊急性が認められる。

(3) 面会室の問題

面会室の広さや相手の声の聞こえ具合等については概ね好意的に評価する回答が多かったが、少数ながら「狭すぎる」と回答する者が回答者31人中4人(13%)おり、隣の部屋を含む外の音が聞こえて気になった経験が「有った」と回答した者も7人(26%)いた。

また、接見を待つ際の待機場所についても7人(26%)の人が部屋の狭さや寒さ等について気になった経験が「有った」と回答している。

具体的意見としては、「寒い」という意見や「木のイスなのでお尻が痛い」、「落書きがある」といった意見があった。

このようなアンケート結果から、未決囚の防御権行使にとって重要な場所である面会(接見)室の遮音性、保温性等について改善の余地があるといえる。

⇒ より未決囚の防御権行使に配慮された広さ・設備のある面会(接見)室へ建て替える必要がある。

(4) 運動場の問題

運動場に関するアンケートによると、回答者数30人中27人(90%)が運動場を利用したことが

有ると回答し、1週間の利用回数も平均2.75回であり、収容者の多くにとって、拘置所生活の中で運動が重要な要素となっていることが明らかとなった。

そのような中で、アンケート結果によると、運動場について気になった点として「屋根が無く、雨の日に運動できない」を選んだ者が19人(67%)で最も多く、次いで「運動場が狭い」を選んだ者が13人(46%)、「運動器具が少ない」を選んだ者が12人(43%)と多かった。

具体的意見では、「運動器具が無い」、「区切りが少人数すぎる」という器具・運用面に関するもののほか、「壁のひび割れからカビが生えている」、「寒い」といった衛生面、環境面に関するものがあった。

⇒ 収容生活の重要な要素となっている運動について十分な機会、環境を確保するため、器具や運用に関する改善のみならず、運動者の人数に応じた十分な広さを確保した屋根付きの清潔な運動場を設置するよう施設を建て替える必要がある。

(5) 風呂場・シャワー室の問題

風呂場・シャワー室については回答者全体の52%の人が衛生面や清潔面で不安に思った経験が「有った」と回答している。

具体的意見としては、浴槽(のお湯)やイス、桶、床マットの衛生面を問題視する声が多く、中には「バイ菌が傷口から入って熱が出た」、「ひげそりで出血した血を流したままにしている」といった意見もみられた。

また浴室施設自体については、「寒い」、「石の浴槽の角が危ない」といった意見があった。

その他、女性の収容者の意見として、「洗面器14杯で洗うのは無理」、「あと5分時間を長くしてほしい」という運用面に関するものもあった。

このようなアンケート結果から、小倉拘置支所の浴室施設について、衛生保健上非常に問題のある環境となっており、設備自体も収容者の健康に危険や悪影響を及ぼし得るものであることが分かった。

⇒ 収容者の健康維持、体調管理にとって重要な要素である浴室施設について、運用や器具の改善だけでなく、浴室施設自体の清潔性、安全性、保温性が確保されたものとすべき必要性が高く、そのためには個別的な対処ではなく、建物自体の建て替えに伴う浴室施設の充実化を図るべきである。

(6) その他の問題

その他にも、

- ① 「部屋にカビが生えているのが気になる」、「壁の四隅がカビだらけ」、「布団から虫が出てきた」といった収容部屋の衛生面に関する意見、
- ② 「窓が開かない」、「窓の建てつけが悪くスムーズに閉まらない」、「窓枠が錆びて汚く開きにくい」、「窓が風で勝手に開く」といった窓の老朽化に関する意見、
- ③ 「スリガラスで自然光が入らない」、「空が全く見えない」といった採光構造に関する意見
- ④ 「備品が古い(洗面台、蛇口等が壊れた)」、「食器台が狭すぎる」といった備品に関する意見などが見られた。

このようなアンケート結果から、小倉拘置支所の老朽化が相当に進行しており、各所において衛生上の問題点や設備使用上の不具合が生じていることが分かった。

⇒ 拘置所内各所に発生している問題点や不具合を全体的、抜本的に改善するためには、建物自体の建て替えを実施するほかないと考えられる。

3 最後に ～収容者の拘置所の老朽化・建て替えについての意見～

今回のアンケートの終わりに拘置所の老朽化・建て替えについての自由意見欄を設けていたところ、やはり建物の老朽化を指摘するもの、早期の建て替えを要望するものが多かった。

現実に小倉拘置支所内部において収容生活を送っている収容者から、上記のとおり、数多くの問題点が指摘され、早期の建て替えを望む声が多く挙がっていることを直視すれば、早急に小倉拘置支所の建て替えを進める必要性が高いことは間違いないと言えよう。

以上